

新大阪駅改良工事に関する 情報が社員に伝わらない！

現在、新大阪駅では平成24年度末までの予定で改良工事が行われています。27番線・引上線2線の増設や出改札口の改良・エスカレータ増設など規模的にも大きな改良工事です。改良工事に伴いすでに中央切符売り場が移動していて、最近では二科詰め所と案内所・精算所も移動しました。

しかし、改良工事に関する情報が社員に伝わらなかったり遅かったりしていて、同じく改良工事を行っているJR西日本の方から情報を得るようなこともあります。さらに、移動する詰め所等に使用開始する当日まで入れない事態も発生しています。

使用開始当日まで移動した詰め所に入れない？

最近、二科詰め所と案内所が移動しましたが、なんと二科詰め所と案内所に入れたのが使用開始する当日でした。移動した場所は同じ新幹線コンコース内の5～10分も離れていない所です。会社がその気になれば、移動する前に詰め所と案内所の見学はできました。社員からも詰め所や案内所を見せて欲しいと管理者に要望していました。私たちJR東海労としても、改良工事に関する情報等が社員に伝わっていない状況があるため、関西支社に対して社員に伝えるように何度も申し入れていました。

しかし、会社は新しい詰め所や案内所の詳細を明らかにせず、詰め所等の見学も行いませんでした。

社員に改良工事の情報等を明らかにせよ！

今後も改良工事に伴い詰め所等の移動が行われます。すでに移動した中央切符売り場や二科詰め所も再び移動が予定されています。しかし、二科詰め所が再び移動する期日や場所などの詳細は一切明らかになっていません。

会社は、社員に対して改良工事に関する情報を、迅速に、詳細にわたり明らかにすべきです。情報の伝達だけでなく、新しくなる詰め所等の見学も実施すべきです。そして、安全・快適に仕事や休憩等が出来るような職場を作るために、社員から意見や要望を聞くべきです。

JR東海労は9月28日、関西支社に対して改良工事に関する要求を含めた51項目の職場(新大阪駅・京都駅)要求を申し入れています。